

【学校教育目標】家庭や八幡小地域、中学校と連携し合い、「豊かな人間性とたくましい体を持ち、自ら学び自ら考え、協力してよりよい生活を創り出していく子ども」の育成



八幡小だより



2024年 7月10日号
北九州市立八幡小学校
校長 澤野 孝雄

本校のスローガン 【時を守り 場を清め 礼を正す】



七夕飾り！ 今年も全校で取り組みました。

7月に入り、大雨と猛暑が続いています。学校では、教育委員会の指針に則り、安全第一を最優先に考え、天気の急変で判断の難しい場合もありますが、大雨が予想される日の登校時間の決定や屋内外での運動及び水泳学習の実施の有無などを判断しています。保護者の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年も丸山地区の地域の方のご厚意により、七夕用の笹を全学級分いただきました。八幡っ子は思い思いの願い事を短冊に書いて飾っています。みなさんの願いが叶うことを心から応援したいと思います。来週の個人懇談会終了まで展示しますので、是非、お子様の短冊を見ていただきたいと思います。



七夕飾りの様子

ブルーリボン運動！小中一貫の取組

中央中学校で行われているブルーリボン運動を本年度より、児童生徒の話し合いの結果、小中合同で取り組むように決まりました。7月1日（月）の昼の放送で中央中学校の生徒会執行部の皆さんから、以下のような説明がありました。

～ブルーリボン運動とは、「人の嫌がることはしない、させない」「いじめにつながることはしない」と心から約束し、ブルーリボンを胸（名札）につける活動です。青色には「調和」という意味があります。8年前から取り組んでいる中央中学校では、ブルーリボン運動を行うことで、人が傷付くような言葉や行動が減って、温かな言葉が増えています。～

八幡っ子も7月から名札にブルーリボンを付けて、「人の嫌がることはしない、させない」

「いじめにつながることはしない」ことを胸に刻んで、いじめ0（ゼロ）の取組につなげています。この取組を通して、八幡小も中央中も今まで以上に笑顔あふれる学校になることを期待しています。



中央中学校生徒会による校内放送

八幡小学校の自慢の教育活動など⑤



未来科の学習が本格的に始まりました。本校では、生活科や総合的な学習の時間、道徳、特別活動、及び内容に関連のある学習教科を結んで「未来科」と称し、探究的な深い学びにつながる学習を展開しています。

今回紹介するのは、5年生の未来科「結～つなげよう、深めようわたしたちの輪」です。この学習は「友達や地域の方との交流を通して、自分にできることや大切なことを考える」をテーマに年間を通して、様々な活動を実施します。現在、思い出に残る自然教室にするために、また、年長者の方も自分達も楽しくなるふれあい昼食会にするために、どんな内容にしたらよいか等の企画運営を行っています。それに加えて、今年は枝光南市民センターの皆様の全面協力で檸檬ロード事業の一部にも参加させていただいています。20年ほど続く、檸檬ロード事業の歩みを調べたり、実際に事業に参加したりして、今後も持続可能な取組にするには何が必要かを考え、5年生なりの柔軟な発想力で「檸檬ロード事業」の提案書を作成する予定です。

単元の導入として、6月12日（水）に八幡大谷市民センターの館長さんに市民センターの役割やふれあい事業の目的などを説明していただきました。翌日の13日（木）には、枝光一区まちづくり協議会会長の野口様に「檸檬ロード事業」

について取り組み始めたきっかけやこれまでの成果に関するたくさんの資料を活用して、プレゼンしていただきました。貴重な講話をいただき、本当にありがとうございました。

6月25日（火）には、果樹支え隊の方々のご協力を得て、檸檬ロードの一区画に八幡小学校5年生のレモンの苗木を2本、植えました。5年生が成人するころにはどのくらいの大きさに育つか、檸檬は実るのか。卒業しても見守ってほしいと思います。



レモンを植えようと思ったの？



檸檬ロードの整備の様子



檸檬の苗木 植樹の様子